



コミュニティ・スクールだより



～地域とともにある学校づくりを目指して～

ニセコ町学校運営協議会推進委員会

2015. 10. 29
☆No.2☆
発行者
ニセコ町
教育委員会

●●「地域とともにあるコミュニティ・スクール研修会」 (H27. 8. 31 ニセコ町民センター) ●●

学校評議員・ニセコ町PTA連合会役員・教職員・教育委員会関係者を対象に、コミュニティ・スクールについて学ぶ研修会を開催しました。

講師は、福島県の公立小学校長で、文部科学省コミュニティ・スクールマイスターでもある安齋 宏之 先生をお迎えしました。安齋先生からは、福島県大玉村に勤務した際に、コミュニティ・スクールの導入に携わった経験を基に、わかりやすく解説をいただきました。その中のポイントを紹介します。



★大切なのは、「どんな子どもを育てたいのか」町民全体で共有すること

大玉村では明確な教育ビジョンを住民や保護者を巻き込んで作ってきた。大切なのは目的。学校運営協議会は「参加」ではなく「参画」することが重要だ。共有ができれば学校を核とした地域づくりを進めることができる。

★安定した教育環境を子どもたちに

教職員の異動や小学校から中学校への進学の際に、これまでは学校に子どもたちが合わせていた。コミュニティ・スクールではこうした変化に左右されない教育環境を作っていける。子どもたちがいるから学校があるという考えが大切だ。



★学校の情報を地域みんなで共有しよう

学校の行事と地域の行事をまとめたコミュニティ・カレンダーを作成して、全戸に配布している。学校でどのようなことが行われているのか誰もが知ることができ、好評を得ている。この他にも、ホームページ作成やコミュニティ・スクール便りの発行を行っている。

★ニセコならではのスタイルを

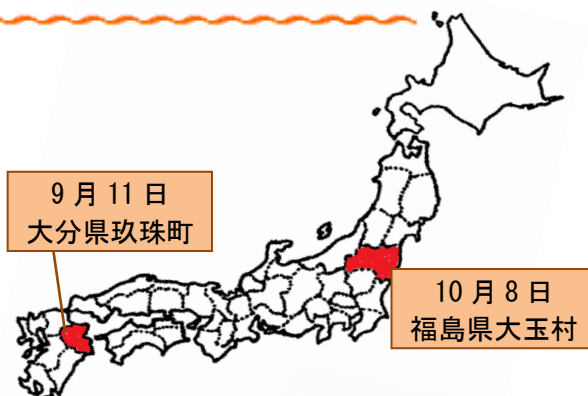
地域資源を活かして、ニセコスタイルの教育を作ってほしい。外国人観光客とコミュニケーションを図ることで英語教育を進めてはどうだろう。町立高校があることも大きな資源だ。地元で働きたいと思える子どもを、みなさんの手で育てましょう。



先進地視察研修を行いました

☐ ミュニティ・スクールは、平成16年に制度化され、
現在では全国約2千校で導入されています（平成27年4月現在。北海道では10市町の37校で導入済み）。

既 に制度を導入し、大きな成果をあげている2地域の視察研修を行い、ニセコ町に導入する際の検討事項を確認したり、導入の成果について理解を深めました。



コミュニティ・スクールを地域の活性化と人材育成に

大分県玖珠町教育委員会／大分県立玖珠美山高等学校

コミュニティ・スクール指定校 小学校5校、中学校4校、高校（県立）1校

●地域全体で子どもを守り育てようという気運が生まれる

「子どもが卒業すると学校に関心がなくなる」「地域文化や伝統が継承されない」といった課題を解決するために、平成23年度から町内の学校に積極的に導入しています。玖珠中学校では、学校・家庭・地域が「学校の課題」や「ビジョン」を共有することからはじめました。アンケートなどで子どもの実態や地域や保護者の願いを把握し、学校運営協議会でこうした情報を共有する中から、地域住民が学校運営のサポートをしたり、学校が地域行事に積極的に参加したりする関係が生まれました。こうした活動により、子どもたちが「地域の方がいつも学校を見守ってくれている」と感じ、学習・生活面での落ち着きがでたり、地域のために何かをしたいと感じたりする子どもが増えているそうです。



また、今春開校した県立玖珠美山高校では、地元の2つの高校の統合を機に導入し、地域の特色を生かした学校づくりを進め、入学者の確保やキャリア教育（将来の職業に向けた学習）を進めています。（写真：高校でのヒアリングの様子）

“みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ” 大玉の教育

福島県大玉村教育委員会「おおたま学園コミュニティ・スクール」

コミュニティ・スクール指定校 幼稚園2園、小学校2校、中学校1校

●いい村はいい学校を育てる、いい学校はいい村をつくる

村内の幼稚園2園・小学校2校・中学校1校をひとつの学園体と見なし、全校合同で「おおたま学園コミュニティ・スクール」を設置しています。これは小さな自治体というメリットを生かし、村民一人ひとりがともに支え合い、学び合っていくという村全体での教育を推進するため。響育・強育・共育・郷育を4つの柱として、「夢を育てる教育」を地域と学校が一体となって実践しています。導入前は、教育は学校任せにしたり、幼・小・中学校間の連携が弱かったりといった課題があったものの、現在では、総合学習のそば打ち体験、浴衣の着付け体験、図書室の配架作業、運動会のポンポン作りなど、さまざまな学校支援活動が定着しています。学校を核とした『学びの共同体』を形成し、新しい地域づくりが進められています。（写真：玉井小学校での琴学習の視察の様子）

